

製品名: FUBP1 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe02009

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.45mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200 |
| 分子量 | Calculated MW: 68 kDa; Observed MW: 74 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | FUBP1 |
| 別名 | DNA helicase V; FBP; FUBP; Fubp1; Fubp4; FUSE-binding protein 1; HDH V |
| 遺伝子 ID | 8880 |
| SwissProt ID | Q96AE4 |
| 免疫原 | ヒト FUBP1 の合成ペプチド |

背景

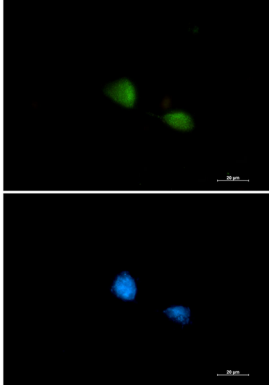
MYC プロモーターの上流に位置する一本鎖の極上流エレメントに結合し、MYC の発現を制御する。転写の活性化因子としても抑制因

子としても作用する可能性がある。

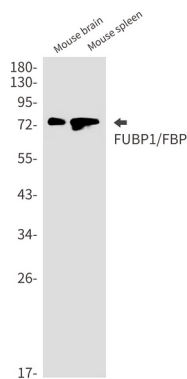
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

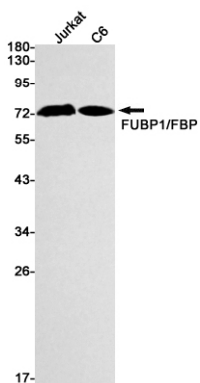
画像データ



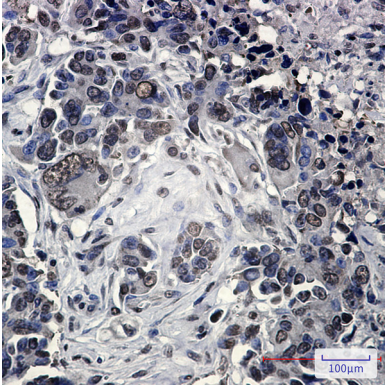
FUBP1 抗体と DAPI (青) を使用した 293 の FUBP1 (緑) の免疫細胞化学分析。



FUBP1/FBP 抗体を使用したマウス脳、マウス脾臓溶解物中の FUBP1/FBP のウェスタンブロット分析。



FUBP1/FBP 抗体を用いた Jurkat, C6 ライセート中の FUBP1/FBP のウェスタンブロット分析



FUBP1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胆管癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。